

基本方針：2.「いちゃりばちょうでえ」平和の心でつながる教育文化のまち

課 題

提案・意見

良い点

① 文化の保全・継承		② 心と体を育む環境づくり		③ 地域交流と支援体制		④ 学校教育	
文化財の活用	○与那原町の伝統文化を学校授業に取り入れる ○文化財ウォークラリー ○「文化財マップ」「歴史マップ」の作成	陸上競技場やサッカー場の整備 全天候型の屋内運動場の整備	○維持管理がし易く、小雨にも対応できる人工芝のグラウンド ○指定管理で行政の負担を減らす	子どもの居場所作り 地域の子供の交流	○公民館の有効活用 ○地域の日を定めて、各自治体で大人と子供の交流を深める（スポーツ等）のイベントを行う ○小、中学校と老人会の交流の場を設ける	島くとうばの教訓を大切に 生活リズムを整える（早寝、早起き、朝ごはん、朝トイレ）	○島くとうば語やびら大会の開催 ○中学生もラジオ体操に参加させる
文化教育の向上	○専門家の出前講座 ・運玉ギル－、網曳資料館、聖クララ協会、上与那原の獅子舞、軽便与那原駅舎、東ウーマイ祭り行列	東浜水路・マリーナの活用	○東浜海岸の観光開拓、観光誘客 ・屋形船（期間限定） ・カヌー、ヨット（部活動等） ・早急な水質調査 ・定期的な祭りの開催 ・海上観光バス（船）	待機児童の解消	○お年寄りを活用した児童預り所	特別支援教育の充実	○親子通園、一時預かり、支援センター、保育、合同施設等のスムーズな連携 ○町の子どもの、育ちを保証
「兄弟小節」の“いちゃりば兄弟”という平和の心を学ぶ	○沖縄の県民性を表す” いちゃりば兄弟” という平和の心を全国へ発信する ・運動会等に行う代表エイサーにする ・夕方、子供たちの帰宅を促す音楽として活用 ・兄弟小節大会・盆踊り・青年エイサー	公園遊具の充実	○昔遊び教室	学校・親・行政間の情報交換	○役場の機能を備えたコミュニティの場を身近な場所につくる	保・幼・小・中の連携	○情報交換・共有ができる体制づくり
文化財の近くに駐車場が無い	○渋滞緩和 ・少ない空地进行、立体駐車場で活用 ・離れた場所（近隣市町村を含む）を駐車場とする場合はシャトルバスを運行する ・電動自転車の貸し出し	FM よなばらの活用	○サークルや趣味で学んだ音楽ラジオドラマ等の発表の場として文化発信を行う	祭りの参加者が増えている	○綱づくり等、行事の参加者の多い区から少ない区へ、派遣する	教育の質・意識向上	○コーディネーターの育成・配置 ○町内関係施設が一緒に受ける研修計画
軽便駅舎が文化財産指定を受けた		健康増進のための施設	○運玉森に遊歩道	地域行事への（若者の）参加が少ない		保育士・教諭の人材不足解消（教員確保）	○保育士等の免許登録
		図書館の充実		若者達が住みやすい町（家賃の補助）		子ども達の県内外派遣費の支援充実	○予算 UP
		与那原小学校の運動場、駐車場の整備		青年会が少ない		MICE を踏まえ、さまざまな国の文化の紹介、言語の習得ができる環境の整備	
				絵本が傍にある「絵本の館」（子供達の遊び場）『ふぁーかんだ（祖父母と孫の密接な関係性）』		人材の活用（専門・地域）	
				子ども父母、地域の人をつなげる		子供達への、絵本の読み聞かせを充実させる	
				町外からの移住者が地域活動に積極的である		子供たちのあいさつ運動	
				登下校時の立哨活動		学力が向上している	

基本方針：2. 「いちやりばちょうでえ」 平和の心でつながる教育文化のまち

課 題

提案・意見

良い点

⑤ 子ども達の安心安全環境づくり	
緑と花 いっぱい運動	○与那原町花「ハイビスカス」の成分 を使って 3、4 次産業の構築
与那原東小学校 （海側）の 交通安全確保	○信号や歩道橋の整備
人権教育・いじめ 問題・虐待・不登 校問題	OSOS 発信がしやすくなるよう、相 談窓口直通の QR コード付きチラ シ等の配布
無理なく続けられ るボランティア活 動の環境整備	
子どもの安全な下 校、塾帰り（夜 間） 防犯カメラの設置	
枯れている 街路樹木の植樹 （手入れ）	
親子で受ける 交通マナー教室	
交通安全の街頭指 導の徹底 飲酒運転の根絶	
津波、地震等の 防災への取組強化	